

特別企画：2018年度の設備投資に関する沖縄県内企業の意識調査

2018年度、企業の70.7%で設備投資計画

～ 投資内容、「設備の代替」が4割近くでトップ、
「省力化・合理化」は29.3% ～

はじめに

国内景気は、人手不足の深刻化や原材料価格の上昇などマイナス材料が目立ち始めてきた一方、輸出が好調を続けているなか、企業業績の改善にともない設備投資が増加している。また、政府は2018年度予算において中小企業向け投資促進税制を拡充するなど、生産性向上に対する政策が進められている。

そこで、帝国データバンク沖縄支店は、2018年度の設備投資計画などに関する企業の見解について調査を実施した。本調査は、TDB景気動向調査2018年4月調査とともに行った。

※調査期間は2018年4月16日～30日、調査対象は155社で、有効回答企業数は58社（回答率37.4%）

※本調査における詳細データは景気動向調査専用HP（<http://www.tdb-di.com>）に掲載している

調査結果（要旨）

- 2018年度に設備投資を行う予定（計画）が『ある』企業は70.7%。規模別では、「大企業」（90.0%）で9割を超えている一方、「中小企業」（66.7%）、「小規模企業」（62.5%）と規模による差が大きい。業界別では、『小売』（100.0%）で最も高く、『卸売』（76.5%）、『製造』（75.0%）で高い。最高の『小売』と最低の『サービス』（60.0%）で40.0ポイントの差が表れている。
- 設備投資の内容では、「設備の代替」（39.0%）がトップ（複数回答）。以下、「省力化・合理化」（29.3%）、「既存設備の維持・補修」（26.8%）、「事務所の等の増設・拡大」19.5%、「増産・販売力増強（国内向け）」（17.1%）、「情報化（IT化）関連」（17.1%）と続く。更新需要に加え、人手不足に対する投資が上位に
- 設備投資にかかる費用では、「100万円以上500万円未満」と「1,000万円以上5,000万円未満」（24.4%）がトップで、平均設備投資予定額は約1億7,875万円。「21人～50人以下」の5,589万円から「301人～1,000人」の10億円まで従業員数による違いは大きい。資金調達方法は「自己資金」（39.0%）が最も多く、「金融機関からの長期の借入れ」（36.6%）と合わせて両方で全体の75.6%と全体の7割余りを占めた
- 設備投資を行わない理由、「すでに投資を実施した」（33.3%）がトップ。次いで「先行きが見通せない」「手持ち現金が少ない」「現状で設備は適正水準である」（各25.0%）が続く。特に中小企業は、将来の不確実性や収益性に対する不透明感、経営環境の厳しさが設備投資を見送る要因に

1. 2018年度の設備投資、企業が70.7%で予定「あり」

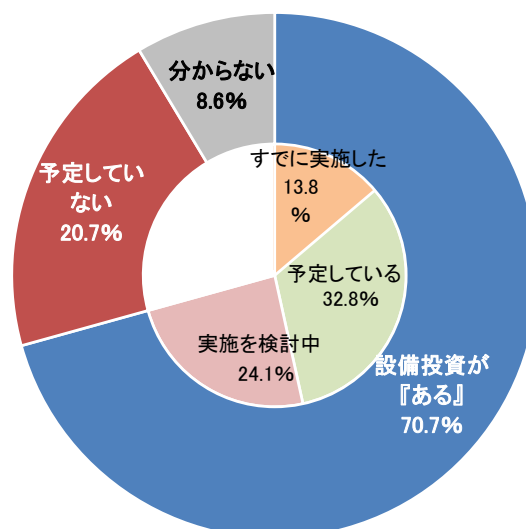
2018年度(2018年4月～2019年3月)に設備投資を実施する予定(計画)があるか尋ねたところ、設備投資が『ある』(「すでに実施した」「予定している」「実施を検討中」の合計)は70.7%(全国62.4%)となり、7割を超える企業が設備投資の実施を予定していた。内訳は、「すでに実施したが」が13.8%(全国6.9%)、「予定している」が32.8%(全国35.2%)、「実施を検討中」が24.1%(全国20.3%)となった。他方、「予定していない」は20.7%(全国29.8%)だった。

設備投資の予定(計画)が『ある』企業を規模別にみると、「大企業」が90.0%(全国70.7%)、「中小企業」が66.7%(全国60.3%)、「小規模企業」が62.5%(全国49.0%)となり、「小規模企業」は「大企業」を27.5ポイント下回った。企業規模が小さくなるほど設備投資の予定割合は低くなっており、企業規模により状況が大きく異なる実態が浮き彫りとなった。

業界別では、『小売』(100.0%)が10割で、『卸売』(76.5%)、『製造』(75.0%)が高い。また、最高の『小売』と最低の『サービス』(60.0%)で40.0ポイントの差が表れており、設備投資の実施は業界間で濃淡がはっきり分かれる結果となった。

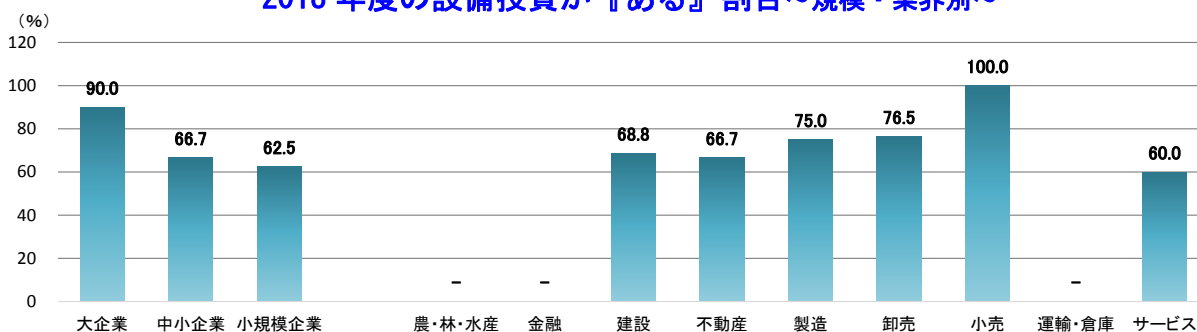
企業からは、「営業車両を購入した」(建設業)や「津波避難タワーを設置した」(製造業)といった声があがった。また、「賃貸用不動産の投資計画中」(不動産業)「内部事務を省力化するためのシステム投資を予定」(一般貨物自動車運送)や「今後も人材不足が予測され、設備更新に加えて省力化が急がれる」(一般製材)など人手不足への対応などの意見も聞かれた。

2018年度の設備投資計画



注:母数は有効回答企業58社

2018年度の設備投資が『ある』割合～規模・業界別～



2. 設備投資は更新需要が多いが、増産・販売力増強や人手不足に対する投資も上位

2018年度に設備投資の予定（計画）が『ある』と回答した企業に対して、予定している設備投資の内容について尋ねたところ、「設備の代替」が39.0%で最高となった（複数回答、以下同）。次いで、「省力化・合理化」（29.3%）、「既存設備の維持・補修」（26.8%）、「事務所等の増設・拡大」（19.5%）が続いた。設備の老朽化にともなう更新投資を目的とする割合が高くなっているほか、人手不足の深刻化による省力化や合理化を目的とした投資が上位にあがった。また、1割超の企業で事業の拡大や情報化など積極的な設備投資を予定している。

設備投資の内容を従業員数別にみると、従業員数21～50人、301～1,000人を除く従業員数において「設備の代替」がトップとなった。次いで多いのが「省力化・合理化」、「事務所等の増設・拡大」、「新製品・新事業・新サービス」。IT関連投資は従業員数6～20人、21～50人規模で見受けられる。他方、従業員数「5人以下」の企業では、「増産・販売力増強（国内向け）」が上位にあがった。

企業からは、「設備の増強は行おうが、必要に応じた人材の確保が課題」（自動車部品小売）や「現在物流倉庫の建設を検討している。資金調達は政府系金融機関を中心に考えている」（不動産業）といった声のほか、「生産性向上のため増産体制を確立していきたいが、人員不足が想像以上で確保が困難。などの意見が聞かれた。他方、「今後は一番大変な建物の更新をしなければならないが、同業他社の新築オープンによる影響が懸念されるなかで、なかなか思い切った判断ができない。老朽化が激しい建物であるのでお客さまのためにも少しでも早く取り組みたい」（菓子小売）など、老朽化対策の需要がある一方で、同業他社との競争のなかで慎重になるケースもみられた。

予定している設備投資の内容 （複数回答）

	(%)
1 設備の代替	39.0
2 省力化・合理化	29.3
3 既存設備の維持・補修	26.8
4 事務所等の増設・拡大	19.5
5 増産・販売力増強（国内向け）	17.1
6 情報化（IT化）関連	17.1
7 物流関連（倉庫等）	17.1
8 新製品・新事業・新サービス	12.2
9 省エネルギー対策（燃費改善、環境対策など）	9.8
10 試作品開発	4.9
11 規制への対応	4.9
12 増産・販売力増強（輸出向け）	2.4
13 研究開発（R&D）	2.4
その他	12.2

注：母数は2018年度の設備投資が『ある』と回答した企業41社

予定している設備投資の内容～従業員数別、上位5項目～（複数回答）

5人以下		6～20人		21～50人		51～100人					
1	設備の代替	40.0	1	設備の代替	45.5	1	既存設備の維持・補修	40.0	1	設備の代替	80.0
	増産・販売力増強（国内向け）	20.0		新製品・新事業・新サービス	18.2	2	省力化・合理化	26.7	2	省力化・合理化	60.0
	新製品・新事業・新サービス	20.0		省力化・合理化	18.2		情報化（IT化）関連	26.7	3	増産・販売力増強（国内向け）	40.0
2	省力化・合理化	20.0	2	試作品開発	18.2		設備の代替	20.0		新製品・新事業・新サービス	20.0
	物流関連（倉庫等）	20.0		情報化（IT化）関連	18.2	4	増産・販売力増強（国内向け）	20.0	4	物流関連（倉庫等）	20.0
	事務所等の増設・拡大	20.0		物流関連（倉庫等）	18.2		物流関連（倉庫等）	20.0		既存設備の維持・補修	20.0
				省エネルギー対策（燃費改善、環境対策など）	18.2		事務所等の増設・拡大	20.0			
101～300人		301～1,000人									
	設備の代替	50.0	1	既存設備の維持・補修	100.0						
	省力化・合理化	50.0		事務所等の増設・拡大	100.0						
1	省エネルギー対策（燃費改善、環境対策など）	50.0									
	既存設備の維持・補修	50.0									
	事務所等の増設・拡大	50.0									

3. 設備投資予定額は平均1億7,875万円、企業の約半数が「自己資金」で賄う

2018年度に設備投資の予定（計画）が『ある』と回答した企業に対して、予定している設備投資にかかる費用を尋ねたところ、「100万円以上500万円未満」と「1,000万円以上5,000万円未満」が24.4%で最も高かった。以下、「1億円以上10億円未満」（17.1%）、「500万円以上1,000万円未満」が続いた。設備投資予定額は平均1億7,875万円だった。

設備投資予定額を従業員数別にみると、「5人以下」から「21人～50人」の企業では「100万円以上500万円未満」から「1,000万円以上5,000万円未満」までの割合が高い。他方、「51人～100人」から「301人～1,000人」では「1,000万円以上5,000万円未満」から「10億円以上」までの割合が高い。平均設備投資予定額は「21人～50人」が5,589万円でもっと低く、「301人～1,000人」で10億円と最も高い。

また、主な資金調達方法では、「自己資金」が39.0%で最も高く、「金融機関からの長期の借入れ」（36.6%）と続き、両方で全体の75.6%と約7割余りを占めた。また、近年資金調達手段として注目の高い「クラウドファンディング」は0.0%にとどまった。

主な資金調達方法を設備投資予定額別にみると、「100万円以上500万円未満」とする企業では「自己資金」が80.0%と5社に4社が自社保有の資金で実施するとしており、設備投資予定額1,000万円未満の企業の半数超が「自己資金」で賄う結果となった。他方、設備投資予定額が「10億円以上」になると、企業の100%が「金融機関からの長期の借入れ」で調達すると考えている様子が見えてくる。

設備投資予定額～従業員数別～

		設備投資にかかる費用								(%)	
		100万円未満	100万円以上500万円未満	500万円以上1,000万円未満	1,000万円以上5,000万円未満	5,000万円以上1億円未満	1億円以上10億円未満	10億円以上	分からない/未回答	合計	平均(万円)
従業員数	全体	0.0	24.4	9.8	24.4	7.3	17.1	4.9	12.2	100.0	17,875
	5人以下	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	100.0	27,650
	6人～20人	0.0	36.4	9.1	27.3	9.1	0.0	9.1	9.1	100.0	11,845
	21人～50人	0.0	33.3	20.0	26.7	6.7	6.7	0.0	6.7	100.0	5,589
	51人～100人	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	100.0	24,700
	101人～300人	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0	100.0	42,000
	301人～1,000人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100,000
	1,000人超	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：母数は2018年度の設備投資が『ある』と回答した企業41社

主な資金調達方法～設備投資予定額別～

		主な資金調達方法									(%)	
		自己資金	金融機関からの短期の借入れ	金融機関からの長期の借入れ	社債等による直接調達	補助金	クラウドファンディング	その他	未定	分からない/未回答	合計	
設備投資にかかる費用	全体	39.0	4.9	36.6	0.0	4.9	0.0	4.9	4.9	4.9	100.0	
	100万円未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	100万円以上500万円未満	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	100.0	
	500万円以上1,000万円未満	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	1,000万円以上5,000万円未満	20.0	10.0	50.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	100.0	
	5,000万円以上1億円未満	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	1億円以上10億円未満	14.3	0.0	85.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	10億円以上	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
分からない/未回答	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	100.0		

注：母数は2018年度の設備投資が『ある』と回答した企業41社

4. 設備投資を行わない理由、「すでに投資を実施した」が33.3%でトップ

2018年度に設備投資を「予定していない」と回答した企業12社に対して、設備投資を行わない理由を尋ねたところ、「すでに投資を実施した」が33.3%でトップとなった(複数回答、以下同)。次いで、「先行きが見通せない」「手持ち現金が少ない」「現状で設備は適正水準である」がいずれも2割を超えた。

また、「自社に合う設備が見つからない」や「設備入れ替えに伴うリスクが大きい」「後継者が不在で事業存続が不透明である」などが8%台ながらあり、不確実な将来に対する懸念から設備投資を見送る中小企業がある様子がうかがえる。

設備投資を予定していない理由(複数回答)

	(%)		
	全体	大企業	中小企業
1 すでに投資を実施した	33.3	-	33.3
2 先行きが見通せない	25.0	-	25.0
3 手持ち現金が少ない	25.0	-	25.0
4 現状で設備は適正水準である	25.0	-	25.0
5 自社に合う設備が見つからない	8.3	-	8.3
6 設備入れ替えにともなうリスクが大きい(生産の一時停止など)	8.3	-	8.3
7 市場の需要がない	8.3	-	8.3
8 後継者が不在で事業存続が不透明である	8.3	-	8.3
9 レンタルや外注を活用する(シェアリングサービスを含む)	8.3	-	8.3
10 投資のための借入見通しが立たない	0.0	-	0.0
11 借入れ負担が大きい	0.0	-	0.0
12 投資に見合う収益を確保できない	0.0	-	0.0
13 新設備の取扱い・運用ができない(従業員の高齢化など)	0.0	-	0.0
14 事業を縮小する予定である	0.0	-	0.0
その他	8.3	-	8.3

注1: 網掛けは、他の企業規模より5ポイント以上高いことを示す

注2: 母数は2018年度の設備投資について、「予定していない」と回答した企業12社

まとめ

人手不足の深刻化が進むなか、企業業績の回復にともなう設備投資に対する期待は増している。本調査結果から、2018年度は企業の70.7%が設備投資の予定が『ある』と考えていることが明らかとなった。しかし、ビンテージ(設備の平均年齢)の上昇が続くなかで、その内容は設備の代替や維持・補修など老朽化した設備の更新需要が中心になるとみられる。他方、省力化・合理化や情報化に向けた設備投資は人手不足という課題の解消に向けた対応として上位にあげられた。

また、設備投資を実施する企業の予定金額は平均1億7,875万円であった。予定金額500万円未満であれば主に自己資金を活用する一方、1,000万円以上になると金融機関からの長期借入れで調達する企業が半数を超えるなど、各社は投資規模に応じて資金調達方法を使い分けている。

2018年度の設備投資は大企業が中心になると見込まれるが、中小企業については先行き不透明感の払拭など経営環境の改善が設備投資拡大に向けたカギとなる。企業の設備投資額は従業員数によってその規模や内容も大きく異なっている。

企業からも、「ものづくり助成金の採用要件緩和を求める。現状、新製品・新事業に向けた研究開発・試作品作成にともなう設備関係への助成を主としているが、例えば高齢者雇用を新規に創出するための既存設備の代替など、将来の構造変化を念頭に入れた設備も助成の対象としてほしい」といった声も聞かれ、目的に応じた経営支援や企業にとって利用しやすい政策投入が必要となろう。

調査先企業の属性

1. 調査対象(155社、有効回答企業58社、回答率37.4%)

2. 企業規模区分

中小企業基本法に準拠するとともに、全国売上高ランキングデータを加え、下記のとおり区分。

業界	大企業	中小企業(小規模企業を含む)	小規模企業
製造業その他の業界	「資本金3億円を超える」かつ「従業員数300人を超える」	「資本金3億円以下」または「従業員300人以下」	「従業員20人以下」
卸売業	「資本金1億円を超える」かつ「従業員数100人を超える」	「資本金1億円以下」または「従業員数100人以下」	「従業員5人以下」
小売業	「資本金5千万円を超える」かつ「従業員50人を超える」	「資本金5千万円以下」または「従業員50人以下」	「従業員5人以下」
サービス業	「資本金5千万円を超える」かつ「従業員100人を超える」	「資本金5千万円以下」または「従業員100人以下」	「従業員5人以下」

注1: 中小企業基本法で小規模企業を除く中小企業に分類される企業のなかで、業種別の全国売上高ランキングが上位3%の企業を大企業として区分

注2: 中小企業基本法で中小企業に分類されない企業のなかで、業種別の全国売上高ランキングが下位50%の企業を中小企業として区分

注3: 上記の業種別の全国売上高ランキングは、TDB産業分類(1,359業種)によるランキング

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 沖縄支店 担当:内野
TEL 098-861-6851 FAX 098-861-6863

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。